

「落語」でつながる地域の和ッ!!

千葉市中央区地域活性化支援事業、三年継続事業二年目

団体 落語研究会縁

代表 千葉家李桜（ちばやりおう）

☆目的

日本の文化《着物、落語の古典芸能》を身近に感じてもらい文化の継承をめざしたい。

川戸小学校 実施数 名

都小学校 実施数 103 名

生浜東小学校 実施数 73 名

仁戸名小学校 実施数 54 名

矢作自治会 実施数 33 名

寒川学童クラブ 実施数 50 名

☆事業の成果

★参加校の一クラス 50 名として 5 校の 250 名を目標としておりましたが本年はおおよそ 365 名の参加となり、まずよい結果がだせたと思います。

また、各小学校のみならず千葉市社会福祉協議会の協力もあり学童クラブへの輪がひろがり話をきいてくれた自治会さんからも依頼かぜあるというふうに地域のわが広がりました。

★生徒や先生の感想

前年と同じように参加生徒さんから感想をいただいております。（感想持参）

★落語、着物、高座体験の内容

①落語のいろは

落語についての基本的な事柄の説明

座布団の置く方向、めくり。めくり台、寄席文字について

落語の小道具

扇子、手ぬぐいを使っての所作、

問題>なにを食べているのでしょうか?

高座について、例題を演ずる

出囃子とともに高座にのる。

お辞儀

↓

口上「名前を言う」

↓

いま好きなこと、食べ物、夢中になっていること、失敗したこと

↓

お辞儀

②着物の説明、羽織りの説明

羽織り着用での高座体験

まず先生から高座体験してもらおう。そして生徒へ

③落語実演、



↑「のぼり」で盛り上げ

先生も高座へ↑

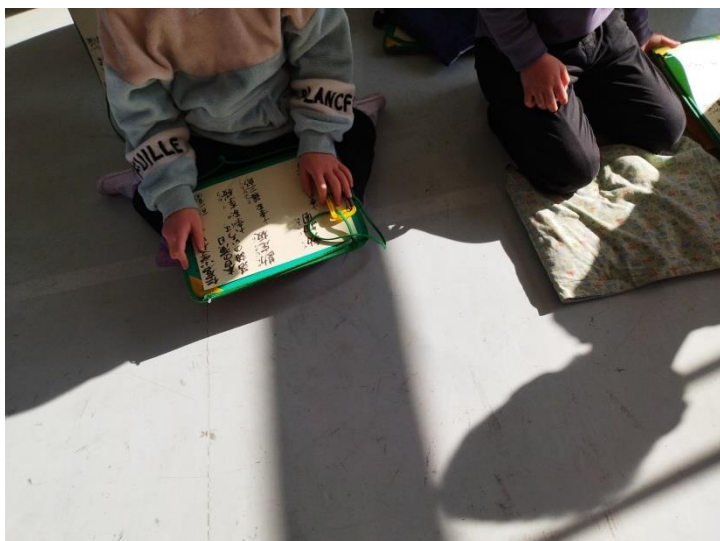


↓生徒に演目表を配布



羽織りを二枚使用して、↑

順番に高座にあがります。



★活動のためにしたこと。

- ①各校 19 校に前年度の状況をいれた書類を送付して、内容をわかりやすく、また参加しやすいように宣伝をした。
- ②各校すべてに電話をいれて、内容を話して参加の可否を聞いた。
- ③自治会さんへも話をした。
- ④学童クラブのイベントは、管轄が社会福祉協議会にあるときいて、はたらきかけをして許可を得た。

★展開や取組みについて

- ①本年度は早め早めに案内をしていく。
- ②早めに電話で参加可否をきいていく。
- ③自治会や学童クラブの開催では、寄付箱を設置する。
- ④子供たちや区内の住民が、日本の伝統文化を理解してもらうためにも地道な活動をつづけていきたい。